

## ニューヨークで考える米国の現状、日本の課題と今後への期待

### －山野内ニューヨーク総領事・大使と懇談－

2020年9月4日

講師：山野内 勘二 駐ニューヨーク総領事・大使

経済広報センターは9月4日、山野内勘二駐ニューヨーク総領事・大使を招き、「ニューヨークで考える米国の現状、日本の課題と今後への期待」と題するオンライン会合を開催した。会員企業の幹部約100名が参加し活発な質疑応答、意見交換が行われた。

山野内氏は、11月の米大統領選について、経済動向と新型コロナの感染状況が選挙結果に大きく影響すると指摘。トランプ、バイデン両候補の外交や国内政策は大きく異なるため、共和党が過半数を押さえる上院の選挙結果を含め、動向を注視していく必要があると述べた。

米中関係については、中国に関する議論が米国内政でも大きな論点になっていると指摘。今年5月に発表された国家安全保障戦略の一環である「米国の中国に対する戦略的アプローチ」において、中国が米国に対して経済、安全保障、イデオロギーの3つの挑戦をもたらしている旨が明記され、ワシントンにおける対中認識の前提になっているとし、米国の日本に対する信頼と期待が高まっていることを紹介した。

また、日本企業がもつ知的財産・特許・技術力の高さや、日本の都市や地域が知的財産クラスターとして評価されていることを取り上げ、日本企業の未来は明るいとの見解を示した。他方、日本の課題は「発信力」にあると指摘。日本の立場をより効果的に説明する能力、技術を、政府だけでなく経済界や言論界を巻き込んで磨いていくことが重要との考えを披露した。

以上

---

一般財団法人

**経済広報センター**

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<http://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。